

2025年度卒業生調査 報告（2026年3月18日）

桐朋学園大学音楽部門キャリア支援センターは、学部卒業後4年時点の卒業生に対して、教育改善の一環として調査を実施しました。進路状況、在学中の学びと現在の社会人生活との関連についての回答、そして在校生への熱いメッセージも多々お寄せいただきました。ご回答くださった卒業生の皆様には心より感謝申し上げます。

桐朋学園大学キャリア支援センター長 合田 香

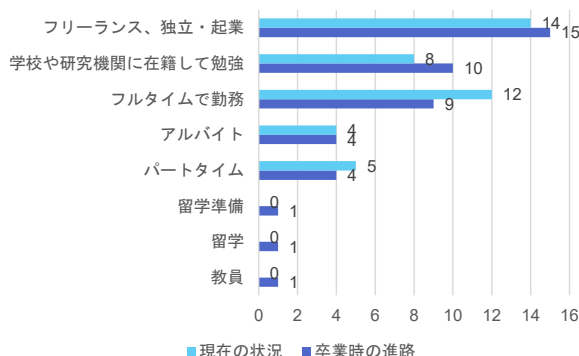
* 実施時期：2025年12月～1月

* 調査方法：ハガキおよびメールで、グーグルフォームへの記入の形で協力を依頼

* 対象：2021年度卒業生175名 うち回答39名(回答率22%)

1. 進路状況

フルタイム、パートタイムで就業している人は、4年間で2割増えている。勉強を続けている人は、卒業時から2割減少している。

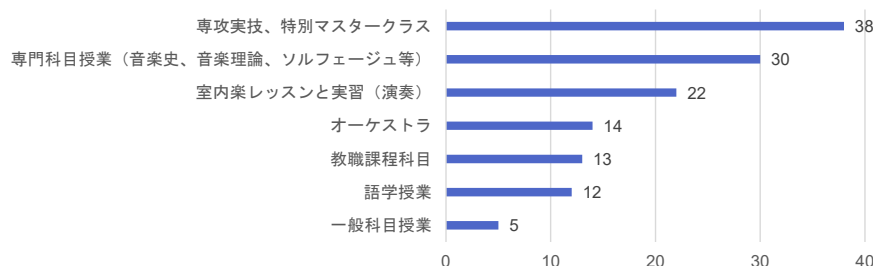


* 複数回答あり・延べ人数

2. 在学中の学びについて

実技関係はもちろんのこと、専門科目授業が現在の仕事に結びついているという記述が多い。

A. 在学時のどのような授業が、現在に役立っていますか。（複数回答可）



* 上記「役立っている科目」についての、具体的な科目名や実践内容

◆音楽理論やソルフェージュ

データ分析の職務で、これまで楽譜を細かく分析してきた経験が活きていると感じる。
ジャズとコードネームは、編成の楽譜がない時など色々な対応に役立っている
ソルフェージュは、自分の音楽の世界を広げてくれた。課題など当時学習したものを生かしながら、指導へ結びつけられています。
ソルフェージュの聴音や和声のおかげで、生徒さんの希望の曲を楽譜におこしたり伴奏をつけたりできている。
キーボードソルフェージュが役立っております。

留学先でソルフェージュや音楽理論の試験をパスでき、履修に余裕ができた

◆音楽史など専門科目

高齢者施設などでの演奏の際に行うプログラム解説で音楽史が役立っている。
管弦楽史・室内楽史は授業外で何かを勉強する時に、正しい知識と要点を一度通しておいてよかったと思いました。
ピアノ実技指導法
ディクシオン
演奏会制作法(短大連携)はいただいた企画書や進行表をそのまま使っている。

◆実技、マスタークラス、室内楽

自分が演奏する時だけでなく、人に教える時にも役に立っています。
先生方からの実技やアンサンブル指導、室内楽を中心としたアンサンブル

◆オーケストラ

様々な楽曲に触れることができ現在の活動に非常に活きております。

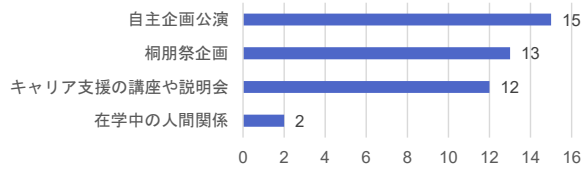
◆教職課程科目

発達心理学
授業計画を考えたことが、講師の仕事でも役立っている。また子どもへの接し方など、当時の教材を参考にしている。
伴奏クラスや音楽科教育法が、教える立場になってすごく役立っている

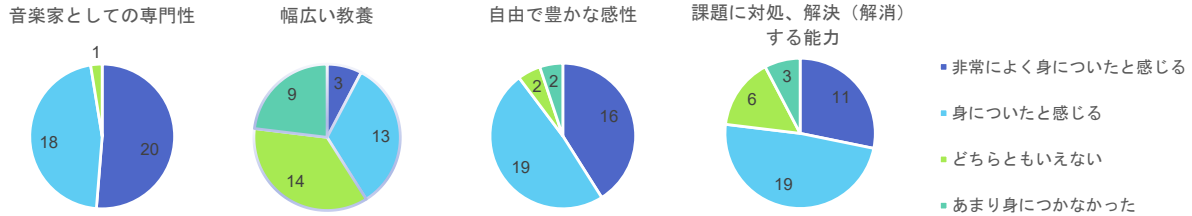
◆語学

英語の授業。現在外資系企業に勤めているため。
海外で勉強した際に、英語をやっておいてよかったと思いました。

B. カリキュラム外の、どんな学びや活動が現在に役立っているでしょうか。（複数回答可）



C. 以下の資質について、在学中にどのくらい身についたと言えるでしょうか？



D. 在学中に学習しておけばよかったと思うこと（自由記述）

【教養・事務・ビジネス面】

語学

英語（外国人の指揮者で演奏したときに感じた）

パソコンスキル（エクセル、ホームページの作り方など）

きちんとした企画書や申請書の書き方

請求書等書類の作り方、契約書などへの読解力、交渉術等

お金について

一般教養や語学をもっと学習しておけばよかった。そうすれば、社会に出てから関わることのできる人が増え、コミュニケーションの幅が広がると思う。

SNSマーケティング

幼児教育に関する勉強

【実技、音楽全般】

編曲・アレンジ

ポップスやジャズなど、クラシック以外のジャンルの音楽

オーケストラスタディ

協奏曲以外のレパートリー

専攻楽器やピアノ以外の楽器に対する知識、理解

歌唱

外部のオペラやコンサートへ足繁く通えば良かった

【その他】

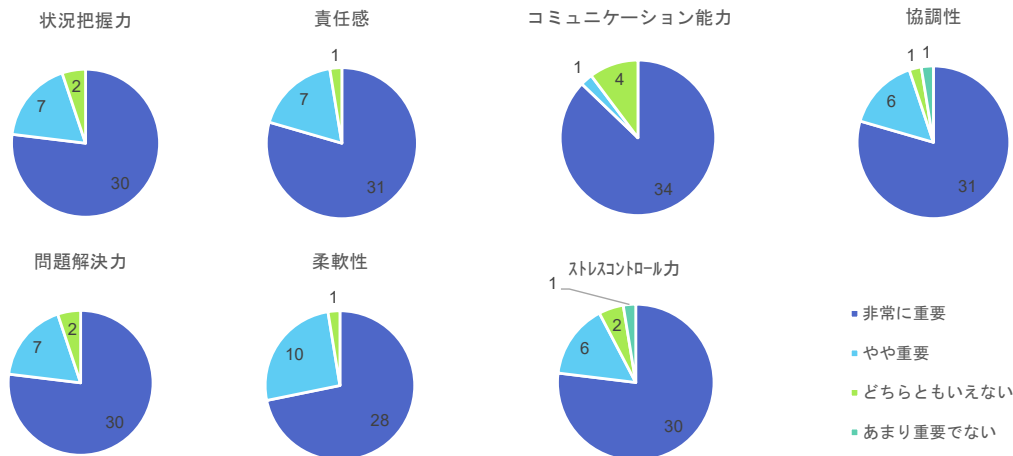
コロナ禍だったため、学生同士の交流（特に他専攻との関わり）

ピアノ専攻以外の方とも縁を増やしていけばよかった

3. 現在、仕事や音楽活動などをする中で感じていること

A. 卒業後の経験を踏まえて、次の能力は社会でどのくらい重要だと感じますか？

(非常に重要、やや重要、どちらともいえない、あまり重要でない、重要でないの5項目から選択・「重要でない」との回答はなし)



【重要だと感じる理由】

全般

人間としての総合力が仕事の幅や量に直結する
 また仕事をしたいと思える人柄が1番大切だと感じるため
 仕事の中では色々なことが起こるため、対処出来るようどの力もバランス良く持つことが必要だと思います。
 実際に社会人として仕事をする上で、どれも重要だと感じました。
 他者任せではなく、自己解決能力や責任感が良いサービスに繋がると考えます
 全てにおいて完璧な人はいないと思うので、得意な能力を活かすことが社会で生きる上で大切だと思う
 社会人としての生きる強さ

音楽家・フリーランスの仕事

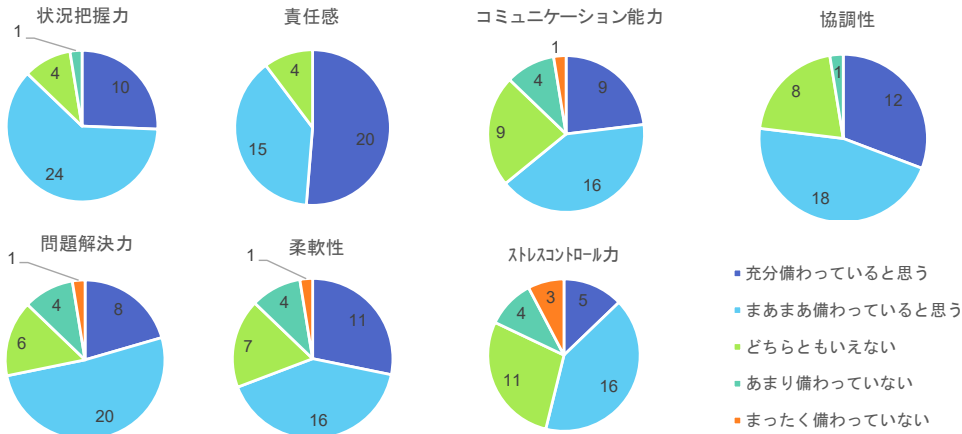
今自分が何ができて、何をしなくては行けなくて、最終的には何がしたいのかを常に自分で考えて行動しなければいけないため現状把握、責任感、問題解決能力が必須。
 人から仕事をもらえるかで活動範囲が違ってくるので人間関係も非常に重要。
 自分で休む日を決めないと休日がなくなるのでストレスや体調のコントロールは大切。
 上記に加え業務遂行能力も重要。
 音楽家として常に責任の重大をしみじみと感じた
 フリーランスという働き方は、自由が利く反面、自分で全責任を負わなければならない(責任と一緒に負ってくれる同僚や上司がいらない)ことも多いので、上記の能力はすべて重要だと感じています。
 音楽をするためには、様々な方々のご協力などが必要で多くの皆様に支えられております。皆様と対話をさせていただきながら舞台に向かっていくプロセスで人間的レベルも上げていく必要があると考えております。
 特に、状況把握能力、コミュニケーション能力、問題解決力は必要だと感じています。目上の方とコミュニケーションを取りながら、状況を細かく把握して、自分の考えを、しっかりと言葉で伝えることが、大切だと感じる場面が多いです。また、ストレスコントロール力、体調管理も侮れないと感じます。
 仕事の信頼を勝ち取るために技術以外には人当たりとか、空気の読み方も大切だと感じた。あとどうしても条件の悪い仕事と向き合わなければならない時もあるので自分のメンタルの土壌を整えておくことと受けられる仕事の幅が増えると思います。
 これらの能力が備わっていると、自分が社会で生き抜く上でとても助けになるからです。自分に足りないところがあるならば、周りの人にたくさん頼ると良いと思います。そのためには、やはりコミュニケーション能力や協調性は、特に身につけておくべきだと思います。
 自分のストレスを健康的に解消する方法を見つけておくのも、とても大切だと思います。

企業での仕事

私は社会に出て企業で働くという選択肢をとり、卒業後から現在までかなり転職を経験しました。中小企業、大企業、日系企業、外資系企業と経験する中で、どの企業においても特にコミュニケーション能力と問題解決力、責任感、柔軟性は仕事のスキル云々以前に社会人として絶対に必要な力だと日々痛感しております。

コミュニケーション能力があればどんな職場でもやっていけるし、状況把握能力、責任感、問題解決力、柔軟性があれば一社員として信用してもらえます。またどの企業にも嫌な人は存在するのでストレスコントロール力があれば無用に精神を病む必要もなくなります。色々な仕事や職場、様々な人との協力を経験するので、順応しつつ、能動的に何か活動する姿勢が私の理想です。状況を正しく把握しないことには、何も上手くいかないのではと思いました。健康管理や経済管理もストレスコントロールの一部かと思い、重要と答えました。

B. 下記能力に関して、現在のご自分についてお答えください。



C. 最後に、在校生へのメッセージをお願いします。

人生は長いので今自分が何をすべきか常に見極める力を大切に。それが今後音楽家として成長しなければいけない糧の一つ。

校内での成績は大切ですが社会に出たらほとんど関係ありません。自分に出来ること、自分のやりたいことを「どんな手段で仕事にするか」を考えれば、桐朋に入れる実力がある皆さんなら、誰でも音楽だけで生活していくことが可能だと思います。お互い頑張りましょうね。信頼関係が大切なので時間や約束は絶対に守りましょう。

自分の可能性に限界を決めずに視野を広くもって日々音楽と向き合っていくことがとても大切だと思います。

卒業後の進路として、多くの方は何らかの形で音楽に携わり続けるとしています。そんな中で、音楽から離れて一般企業に進む選択をする人は少ないかもしれませんが、私自身も、ずっとピアノだけをしてきましたが、現実的にそれで自立できる自信が持てず、一般企業で働く道を選びました。

当時は、これまで親にかけてもらったお金や時間、自分の努力が無駄になってしまうのではないかと葛藤もありました。しかし、恩師から「親御さんは、君がどんな人生を歩んでも“ピアノが心の帰れる場所になるように”支えてきたんじゃないかな」と声をかけていただき、とても心が軽くなったことを覚えています。その言葉があったからこそ、私は新しい一歩を踏み出すことができました。

実際に働き始めてみると、音楽で培ってきた集中力、継続力、表現力、ストレス耐性、分析力など、多くの能力が別の形で活きていると感じています。音楽に打ち込んできた時間は、何一つ無駄にはなりません。どうか安心して、自分が選んだ道に胸を張って進んでください。

最後にひとつだけ先輩らしいアドバイスをするとすれば、私たちは一つのことを極めてきた分、努力を続ける力に長けています。ただし一般社会には、どう頑張っても合わない環境もあります。努力しても報われず心が苦しくなる時は、遠慮なく環境を変えてください。私自身も転職を重ねて、自分に合う場所を見つけてきました。音楽でなくても、“合う環境”は必ずあります。

表に出ないだけで私のように進路に葛藤や恐怖を感じている生徒はかなりの数だと思います。文章がまとまっていなくても、何か少しでも私の言葉や経験がお役に立てると幸いです。

基本的に成功に努力は最低条件であり、努力すれば報われる訳ではありません。正しい努力、間違った努力の見極めが出来るかどうか重要です。(それを理解するために間違った努力が必要な段階もあると思います)自分の人生に思い描いている理想があれば、それに必要なことを考え、失敗を恐れず挑戦し続けること。学生の時から自分に必要なことを取捨選択すること。学生の時は時間があるからこそ、自分の人生について考え、その先の人生への準備をどう積んだかが大きな差になると思います。人生は長いようで短いので、自分の人生にとっての幸せや目標から目を逸らさず、この先の自分の人生を助ける有意義な時間を過ごしてほしいと思います。

学生時代は練習や授業を受けることで必死になってしまいがちですが、音楽に全く関係ないことに興味をもって実践するということもとても大事だと思う。

音楽だけでなく、様々なことに触れてみてください！

わたしは演奏以外のキャリアを選びましたが、想像以上に学生時代の経験を仕事に活かしていると感じます。目の前のことに向き合うのも大切ですが、ぜひ社会や世の中に常に目を向けながら、自分の選ぶ道を探してみてください！

失敗を恐れず、色々なことにチャレンジして吸収することが大切だと感じます。

1回は会社員をやった方がいいと思います。音楽家は非常識だと分かります。

今の学びは、将来音楽家として生きるかどうかに関わらず、何かしらの形で必ず役に立ちます。学びは、「音楽家として生きるため」ということ以上に、どんな職に就くかに関わらず、「将来自分が生きて行くための投資」です。
例えば、自分の弾けないところを練習するときに、「何が原因なのだろう?」「どんな練習をすれば弾けるようになるだろう?」と考えることは、「問題解決力」につながります。
またアンサンブルをするときに、自分から意見を言ったり人の意見を聞いたりして、それを整理して演奏に活かすことは、「コミュニケーション能力」や「協調性」につながります。これらの資質は、音楽家として生きるにしても、他の仕事に就くにしても、欠かせない資質です。
今与えられている学びに一つ一つ丁寧に誠実に向き合っていけば、必ずその経験は、将来役に立ちます。今皆さんがしている学びは、今しかできません。いつかは、今のようには学びたくても、学べない時が必ずやってきます。
ですから、今やっていることの意味がわからなかったとしても、「この学びは、必ず将来自分が生きる上で役に立つ」と信じて、大切に向き合ってみてくださいね。

卒業後、音楽に携わる仕事も幅広くありますし、沢山の音楽の関わり方があると感じます。楽器演奏だけでなく、人に教えたり、コンサートを企画し、運営したり、お客様を案内したりなど、様々な経験を積むことで、音楽家としての力が培われていくと、日々感じています。

応援しております！

卒業後に向けての準備は、できるだけ早いうちからやっておくと良いと思います！たとえ卒業後にどうしたいかが定まっていなくても、進路の選択肢としてどのようなものがあるのか、できるだけ多く知っておくことが大切です。そのための情報収集をすることで、視野も広がりますし、より納得のいく進路を選ぶようになると思います。

また、卒業後に向けての準備とは別に、実技の練習やあらゆる分野の勉強を、できる限りやっておきましょう。社会人になるとどうしても練習や勉強の時間が取りづらくなるので…。仕事のことを考えずに練習や勉強ができるのは、学生の特権だと思います！

皆さんの今後のご活躍を、陰ながら応援しております。楽しみつつ、頑張ってください！

音楽家として完全に自分の収入でご飯を食べられるのに一苦労しましたが、それでも向き合えた人たちにとってはどの業界よりも職業満足度が高いのでは感じています。頑張ってください…！

以上